**水泳競技会の再開時の感染拡大防止策チェックリスト**

**【選手・監督・コーチが順守すべき事項】**

１　入館前

□　入館前２週間において、以下の事項に該当する場合は、入館を見合わせること。

・平熱を超える発熱

・咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状

・だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）

・臭覚や味覚の異常

・体が重たく感じる、疲れやすい等の症状

・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無

・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

□　「健康チェック表」に必要事項を記入し、持参すること。

□　水泳用具・飲食物・ストレッチマット等は、専用の物を用意し共用しないこと。

□　会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。

２　水泳場

□　入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（できるだけ２ｍ以上）をとって行動すること。（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）

□　練習時に、各レーン内で待機する場合、スタート練習で並ぶ場合も距離を保つこと。

□　選手控え場所・観覧席で、人との距離・座席間の距離を保つこと。

□　チームごとに、選手控え場所・観覧席の人数制限を周知し、徹底すること。

□　トレーナーズベッドは、許可された場合のみ、指定された場所で使用できる。

□　泳ぐとき以外はマスクを着用すること。（更衣室・招集所・選手控え場所・観覧席・プールサイド・トイレなど）

□　レース前にはずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。

（マスクは、選手イス・脱衣ボックスに直接置かない）

□　こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

□　選手は、招集所での選手間の会話、レース後の選手間の会話を控えること。

□　大きな声での会話や応援をしないこと。コーチは、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。

□　唾や痰を吐くことは極力行わないこと。

□　飲食については、指定場所以外で行わないこと。

□　ドリンクの回し飲みはしないこと。

□　飲みきれなかったドリンクを、指定場所以外に捨てないこと。

□　選手は、自分のレース終了後、なるべく速やかに退館すること。

□　ミーティング等は控えること。

□　競技会主催者・施設管理者が決めたその他の措置・指示について従うこと。

３　退館後

□　退館後２週間以内に「新型コロナウイルス感染症を発症した」場合は、競技会担当者に対して、濃厚接触者の有無等について報告すること。